

1年	課題（現状、傾向、課題分析）	改善プラン（改善のための具体策や取り組み）	成果と課題
国語	・聞き手に合わせて適切な声の大きさで話すことや、話し手に体を向けて最後まで話を聞くことに課題がある。 ・鉛筆の正しい持ち方や適切な筆圧を身に付け、正しい筆順と字形を習得することに課題がある。 ・正しい言葉や文の書き方（促音・拗音・長音・助詞「はへを」）の習得に課題がある。	・話の聞き方や話し方についてのポイントや、声のものさしを常時掲示することで意識化を図り、達成度を適宜振り返らせる。 ・年間を通じて、視聴覚教材を活用しながら視覚的に正しい鉛筆の持ち方の指導を継続する。また、正しい筆順や字形の確認を行い、個別に指導するなどして、確実な定着を図る。 ・音読や読書を通じて正しい助詞の使い方を身に付けられるようにする。日常的に短文作りを行ったり練習問題に取り組んだりして、語彙力を増やすことや、言葉や文章の正しい書き方を習得できるよう指導する。また、多層指導モデルMIMを活用した読みの指導を行う。	
算数	・たし算やひき算を、素早く正確に計算することに課題がある。 ・求残以外の引き算の意味（求補・求差）を理解することに課題がある。 ・文章題の題意を的確につかみ、正しく立式したり、足し算と引き算の文章題を作ったりすることに課題がある。	・計算ワークや計算カードを活用し、繰り返し取り組むことやタイムを計ることで、正確さや速さの向上を図る。 ・問題文の分かっていること（条件）と聞かれていることを明確にし、ブロック操作や図を描くことを通して、数や量の概念理解を促し、問題の意味を理解できるようにする。 ・数の関係を図・式・言葉で表せるようにするために、電子黒板等を活用し、互いの考えを共有することで、様々な表現や処理の方法を学ぶ機会を設ける。	
生活	・身近な自然に目を向け、成長し、変化していく不思議さに気付いたり、自然の物を使って工夫して遊んだりする経験が必要である。 ・活動や体験を言葉や絵で的確に表現することに課題がある。	・視点を設けて観察や活動をすることで自然への気付きを深め、科学的な見方や考え方の基礎を養う。また、工夫した点を紹介し合うことで、遊びを創造する力を伸ばす。 ・複数の児童の観察カード等を電子黒板で提示したり、気付いたことを発表したりすることを通して、様々な表現の仕方に触れ、ヒントを得ながら、自らの表現の幅を広げられるようにする。	
音楽	・友達と関わりながら、楽しく意欲的に音楽活動に取り組むことに手だてを講じる必要がある。	・互いの声や音を聴きながら歌ったり、手拍子で拍をうったりする活動を通して、音楽活動を楽しめるようにする。また、様々な曲の鑑賞を通して曲の良さについて思いをもち、友達と言葉で伝え合えるように促していく。	
図工	・題材、めあてに即した工夫を考えることに課題がある。 ・基本的な道具（のり・はさみ・クレパス）の正しい使い方を身に付けることに課題がある。	・導入で題材の特徴や活動のめあてを伝え、どんな作品を作りたいかなど、友達と交流することでイメージを広げられるようにする。また、個々の課題や特性に合わせて言葉をかけ、それぞれの思いや考えを引き出すようにする。 ・単元の中で活動に合わせた道具の使い方を指導し、活動を楽しみながら正しい使い方を身に付けられるようにする。	
体育	・楽しみながら体を動かすことができているが、様々な運動遊びの特性に応じた技能を身に付けることに課題がある。 ・自ら学習を振り返り、課題から簡単な次のめあてを立てることに課題がある。	・かけっこ、ボール投げ、マット運動等、それぞれの運動特性を踏まえた運動遊びを繰り返し行うことで、様々な動きに慣れ、自分の体を思うように動かせるようにする。また、スモールステップで学習計画を立てたり、場作りを工夫したりして、効果的に技能を身に付けられるようにする。 ・学習カード等を活用し、「めあて→取り組み→振り返り」という学習サイクルを作る。	